

2024年度入試 受験レポート

受験レポートには、個人を特定できる情報は記入しないでください。

記入いただいた受験レポートおよび添付書類はあなたが所属する高校の先生と先生、そして個人が特定できない形にした上で、全国の受験レポートに協力して下さった高校の先生と先生に公開し、受験対策を行う際に参考として利用します。利用にあたり、記入いただいた内容は、必要に応じて修正、変更、要約、翻訳、翻案等を行うことがあります。ご了承ください。

受験校	三重大学 短期大学 専門学校	学部	工学部	学科	総合工	専攻	応用化学
-----	----------------------	----	-----	----	-----	----	------

1. 入試方式名・日程名を記入してください
例：前期・学校推薦型Ⅰ、総合型Ⅱ期
(推薦Ⅰ) 2023年11月25日

2. 受験日を記入してください
2023年11月25日

3. この学校の受験に共通テストを利用しましたか、有無に○を記入し、教科・科目数・得点を記入してください ※任意
例：有・5教科7科目 720点
 無 有 → (教科 科目 点)

4. 該当する入試に○をつけ、学校推薦型選抜については詳細を選択してください

1: 学校推薦型選抜
 2: 総合型選抜
 3: 一般選抜

<学校推薦型選抜の詳細> 該当する内容に○をつけてください
 公募制 指定校 スポーツ その他()

<地域が指定されている場合>
 地域指定(例：県内、県外)

5. 専門高校(工業科、商業科、農業科、総合学科など)に通っている場合は、いずれかに○を記入してください
 専門・総合学科枠で受験 専門・総合学科枠ではない

6. 合否に○を記入してください
 合格 不合格

※質問1〜5で個人を特定できる内容は書かないでください。

1. 将来、あなたはどのように社会に貢献したい(の役に立ちたい)ですか?
例：地元で高校で数学教師として、数学が苦手な生徒を少なくしたい
海外で通訳として活躍し、日本と他国の懸け橋になりたい

2. (1を実現するために)あなたは大学で何をどのように学びたいですか?
例：数学の専門的な力を伸ばすとともに、最新の教育手法を学びたい
アメリカとフランスに留学留学し、異文化理解を深めたい

環境や社会問題について学び、それらを化学の視点から解決できるようなことを学びたい。

3. 1や2を実現するために、面接や志望理由書でアピールした「あなたの強み」に○をつけてください。 ※複数選択可

高校で学んだ教科の基礎学力	<input type="checkbox"/>	教科知識に限らない幅広い教養	<input type="checkbox"/>	課題発見力・課題解決力	<input type="checkbox"/>	学習意欲	<input type="checkbox"/>	物事に柔軟に対応する力	<input type="checkbox"/>	様々な人と協働する力(グローバルマインド)	<input type="checkbox"/>
語学力	<input type="checkbox"/>	志望する分野の専門的な知識	<input type="checkbox"/>	洞察力	<input type="checkbox"/>	知的好奇心・探究心	<input type="checkbox"/>	自分を客観的に見る力(メタ認知)	<input type="checkbox"/>	思いやり・他者を尊重する気持ち	<input type="checkbox"/>
文章の読解力	<input type="checkbox"/>	創造力・発想力	<input type="checkbox"/>	状況を俯瞰して考え、判断する力	<input type="checkbox"/>	目標を設定する力	<input type="checkbox"/>	リーダーシップ	<input type="checkbox"/>	倫理観	<input type="checkbox"/>
情報を分析し、活用する力	<input type="checkbox"/>	論理的思考力	<input type="checkbox"/>	コミュニケーション力	<input type="checkbox"/>	主体性をもって行動する力	<input type="checkbox"/>	チームにおける役割を認識する力	<input type="checkbox"/>	物に当てはまるものはない	<input type="checkbox"/>
ITを活用する力	<input type="checkbox"/>	批判的思考力	<input type="checkbox"/>	プレゼンテーション力	<input type="checkbox"/>	やり抜く力・持続性	<input type="checkbox"/>	社会に貢献しようとする意欲	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

4. 「あなたの強み」をアピールできる活動について詳しく教えてください。 ※1つでも可

活動内容 ※○をつけてください	1つ目の強み	2つ目の強み
具体的な実績・成果 例) サッカー部に所属。3年生のときに主将としてチームを率い、地区大会でベスト4になった。	英検と数検で2級を取得していること。	空手を11年間しており、2段を持っていること。
実績・成果を出すために具体的に取り組んだこと 例) 週1回、練習がオプの日に部員全員で自主ミーティングを行い、前の1週間の練習内容の反省をし、次の1週間の練習の目標を共有した。	何回落ちてもあきらめずに挑戦し続けた。	

5. 出願時の学習成績の状況(5段階の評定平均値)を教えてください。 [4.5] ※任意

6. 高校生のときに取得した資格や受賞歴について教えてください。

資格・検定(語学系) ※取得年も記入してください 例) GTEC BT 1045(2023年)	検定名: 英検 スコア・級: 2級(2023年)	資格・検定(その他) ※取得年も記入してください 例) 日商簿記2級(2023年)	数検 2級 2023年
学内/学外活動・課題研究・コンテスト受賞歴 ※受賞年も記入してください 例) ●● 全国大会優秀賞(2023年)	空手2段 2021年		

※回答内容、暗号等は、個人を特定できる内容は書かないでください。

2 受験科目(受験に使用したもの)全てに○を記入してください。○を付けた試験について詳細をレポート下側に記入してください。

<input type="checkbox"/> 1: 面接・口頭試問	<input type="checkbox"/> 2: 小論文・作文	<input type="checkbox"/> 3: 書類審査(調査書・志望理由書など)	<input type="checkbox"/> 4: 教科試験(教科:)
<input type="checkbox"/> 5: 実技	<input type="checkbox"/> 6: プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> 7: グループ討論・ディスカッション	<input type="checkbox"/> 8: 他(実験)

1: 面接・口頭試問

質問内容を記入してください

ご自身の回答内容を要約して記入してください

①形式: 個人面接 グループ面接

②面接の時間: ()分以内

③面接官の人数: ()人

④受験者の人数: ()人

⑤面接会場の机やイスの配置図

○ ○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○ ○

① 志望動機 カムフラにたくさん問題かできる。範囲は全部。1時間かかるといっていい。10月10日に面接があった。日常的な問題や基礎知識をきかれた。例(人は何の原子で出来ているか。液体の金属は何か。水と気化する方法は何? 問く?)

② 英語で2つ質問が来てあり、まずそれを日本語に直す。そして答えていく。10月10日にかかっている元素名を英語で答える。20日かそれらの元素を原子番号順に並べた。例(H、O、Na、C、Si)

2: 小論文・作文

テーマ・出題内容を記入してください

①試験時間 (90)分

②字数 ()字

③小論文出典

① 科学技術が進歩して利益が出たが逆に火の発電所のように環境が悪くなったなどの不利益も出ています。そこで上記以外で2つそれらの例を挙げたい。そしてそれらの改善点を述べたい。

② H(1)軽水素 D(2) T(3)? これらの質量数から3つの水素で水を作ります。そこで性質のちがいを述べたい。そして3つの混合物から TO_2 を取り出す方法をかす。

受験科目 実験 ※受験科目には2で○を付けた番号を記入してください

ご自身の結果または手控えを記入してください

①試験時間 (10)分 2人ずつ、目の前にたくさん TO_2 とポリイオン球に分けて、 TO_2 球の密度を求めよ。

②試験内容詳細 (紙がある。) 1. 比重が1より重い TO_2 球と1より軽いポリイオン球がまじっている。それらを

受験科目

※受験科目には2で○を付けた番号を記入してください

ご自身の結果または手控えを記入してください

①試験時間 ()分

②試験内容詳細

受験校への対策開始時期と対策内容について教えてください

2023年11月

[対策開始時期]

[対策内容] たくさん実験をした。小論文をかいた。特にSDGsと脱炭素社会などを中心に学んだ。化学でよく出る基礎問題の1問1答をしていくべきだった。

A1485F

F1285 4610 0111-110 OK

2024年度入試 受験レポート

受験レポートには、個人を特定できる情報は記入しないでください。
 記入いただいた受験レポートおよび送付書類はあなたが所属する高校の先生と後輩、そして個人が特定できない形にした上で、全国の受験レポートに協力して下さった高校の先生と生徒に公開し、受験対策を行う際に参考として利用します。利用にあたり、記入いただいた内容は、必要に応じて修正、改変、要約・翻訳・転載等を行うことがあります。ご了承ください。

受験校	三重大学 短期大学 専門学校	学部	工学部	学科	総合工	専攻 コース	応用化学
-----	----------------------	----	-----	----	-----	-----------	------

1. 入試方式名・日程名を記入してください
 例：前期、学校推薦型Ⅰ、総合型Ⅱ期
 (学校推薦型Ⅰ)

2. 受験日を記入してください
 2023年 11月 25日

3. この学校の受験に共通テストを利用しましたか。有無に○を記入し、
 教科・科目数・得点を記入してください ※任意
 無 有 → (教科 科目 点)
 例：有・5教科7科目 720点

4. 該当する入試に○をつけ、学校推薦型選抜については詳細を選択してください

1: 学校推薦型選抜
 2: 総合型選抜
 3: 一般選抜

5. 専門高校(工業科、商業科、農業科、総合学科など)に通っている場合は、いずれかに○を記入してください
 専門・総合学科特で受験 専門・総合学科特ではない

6. 合否に○を記入してください
 合格 不合格

1. 将来、あなたはどのように社会に貢献したい(人の役に立ちたい)ですか?
 例：地元で高校で数学教師として、数学が苦手な生徒を少なくしたい
 ・海外で通訳として活躍し、日本と他国の懸け橋になりたい
 肌の弱い人に役立つものを開発したい

2. (1を実現するために)あなたは大学で何をどのように学びたいですか?
 例：数学の専門的な力を伸ばすとともに、最新の教育手法を学びたい
 ・アメリカとフランスに語学留学し、異文化理解を深めたい
 有機合成

3. 1や2を実現するために、面接や志望理由書でアピールした「あなたの強み」に○をつけてください。 ※複数選択可

高校で学んだ教科の基礎学力	教科知識に限らない幅広い教養	課題発見力・課題解決力	学習意欲	物事に柔軟に対応する力	様々な人と協働する力(グローバルマインド)
語学力	志望する分野の専門的な知識	洞察力	知的な好奇心・探究心	自分を客観的に見る力(メタ認知)	思いやり・他者を尊重する気持ち
文章の読解力	創造力・発想力	状況を俯瞰して考え、判断する力	目標を設定する力	リーダーシップ	倫理観
情報を分析し、活用する力	論理的思考力	コミュニケーション力	主体性をもって行動する力	チームにおける役割を認識する力	特に出ではまるものはない
ITを活用する力	批判的思考力	プレゼンテーション力	やり抜く力・持続性	社会に貢献しようとする意欲	

4. 「あなたの強み」をアピールできる活動について詳しく教えてください。 ※1つでも可

活動内容 ※○をつけてください	1つ目の強み	2つ目の強み
具体的な実績・成果 例) サッカー部に所属。3年生のときに主将としてチームを率い、地区大会でベスト4になった。	弓道部に所属。2年生の弓に落ちという役割をい。県大会に出場。	学校行事・委員会・部活動・探究活動・ボランティア・資格・その他
実績・成果を出すために具体的に取り組んだこと 例) 週1回、練習がオフの日に部員全員で自主ミーティングを行い、前の1週間の練習内容の反省をし、次の1週間の練習の目標を共有した。	学校が始まる前、部活後の自主練習をした。	

5. 出願時の学習成績の状況(5段階の評定平均値)を教えてください。 [4.7] ※任意

6. 高校生のときに取得した資格や受賞歴について教えてください。

資格・検定(国語系) ※取得年も記入してください 例) GTEC:CBT 1045 (2022年)	検定名: 英検 スコア: 級: 準2級 (2020年)	資格・検定(その他) ※取得年も記入してください 例) 日商簿記2級 (2022年)	弓道初段 (2021年)
学内/学外活動・課題研究・コンテスト受賞歴 ※受賞年も記入してください 例) ●● 全国大会優秀賞 (2022年)			

2 受験科目

受験科目(受験に使用したもの)全てに○を記入してください。○を付けた試験について詳細をレポート下側に記入してください。

<input type="checkbox"/> 1: 面接・口頭試問	<input checked="" type="checkbox"/> 2: 小論文・作文	<input type="checkbox"/> 3: 書翰書写(漢字書・仮名遣書など)	<input type="checkbox"/> 4: 教科試験(理科)
<input type="checkbox"/> 5: 実技	<input type="checkbox"/> 6: プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> 7: グループ討論・ディスカッション	<input type="checkbox"/> 8: 他()

1. 面接・口頭試問 質問内容を記入してください 自身の回答内容を要約して記入してください

①形式: 個人面接 グループ面接

②面接の時間: (10)分くらい

③面接官の人数: (4)人

④受験者の人数: (1)人

⑤面接会場の机やイスの配置図

ご自身の回答内容を要約して記入してください

・志望動機を簡単に
・何故有機合成が学みたいのか
・他に学みたいこと
・それは何に役かわりそうか
・元素名を上から英語で答えてほしい
(問題も英文で書かれている)
C S I B O H N
・これを原番号順に
・酸化数の 銅の酸化数
・アミノ酸は何種類

・有機合成を学みたいからです。
・〇〇先生のFで研究したいから。
・界面活性剤
・C₁₇H₂₁
・+2
・20種類

2. 小論文・作文 テーマ・出題内容を記入してください

①試験時間 (90)分

②字数 ()字

③小論文出典

テーマ: 出題内容を記入してください

(1) ① 科学技術の発展で起きた、利益、不利益(化学に限らず)を2つ上げよ。
② 不利益を改善、解消する科学技術

(2) 軽水(H₂O)、重水(D₂O)、トリチウム水(T₂O)の物性を推測し、それに基づき、トリチウム水を除去する方法を2つだけ書け。図を用いて。

受験科目 実験 ※受験科目には2で○を付けた番号を記入してください 自身の結果または手応えを記入してください

①試験時間 (10)分

②試験内容詳細

2つの物質の密度を求めよ。
↳ 比重が1より小さいもの、(より大きいもの)容器に混入した。

受験科目 実験 ※受験科目には2で○を付けた番号を記入してください 自身の結果または手応えを記入してください

①試験時間 ()分

②試験内容詳細

受験校への対策開始時期と対策内容について教えてください	【対策開始時期】 2023年10月	【対策内容】 小論文、面接、実験
-----------------------------	----------------------	---------------------

地域を見つめ、 三重から世界へ

地域社会を発展させる原動力として、新しい地域づくりを先導する役割を担う三重大学。地域に根差し、世界に誇れる教育・研究に取り組み、人と自然の調和・共生の中で切磋琢磨することを理念としている。

グローバル社会で自ら 学び続ける人材を育成

三重大学は、1キャンパスに5学部7学科・課程を置く総合大学。人文学部、教育学部、医学部、工学部、生物資源学部を設置し、広大なキャンパス内には6つの大学院研究科のほか、学生の学びをサポートする施設が充実している。

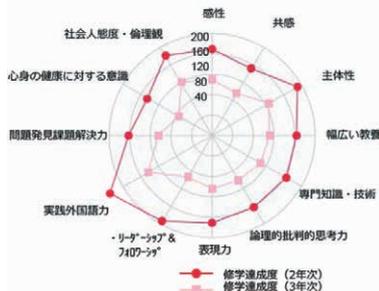
学部教育では、総合大学の利点を生かした「共通教育」を実施。このカリキュラムは全学部生が受講し、社会人として身に付けておくべき基礎的な能力を養う「大学基礎科目」、幅広い教養と豊かな人間性を涵養する「教養基礎科目（副専攻科目）」、学部専門教育を受講するために必要な基礎を学ぶ「専攻基礎科目」の3つから構成されている。学部・学科の授業と「共通教育」を通して、社会のグローバル化に対応できる総合的な判断力と、自律的・能動的な学修力を備えた人材の育成をめざしている。

三重の力を世界へ、世界から三重へ、未来を拓く地域共創大学

三重大学は、世界とつながる地域共創活動に取り組み、未来を拓く教育研究拠点として世界が注目する地域共創大学をめざしている。教育面においては、従来から重点を置いてきた「感じる力」「考える力」「コミュニケーション力」に「行動する力」を加えた、総合的な「生きる力」を修得することによって、地域や世界の諸課題を発見・解決できる人材の育成に努めている。さらに、環境・SDGsや防災・減災に関するリテラシーをはじめ、AIの活用や数理データサイエンスなど、文理横断的に活動し続ける人材を、行政や企業、地域の人々の協力を得ながら育成している。研究では、世界と肩を並べるナンバーワン研究、地域に根差したオンリーワン研究を中心に、カーボンニュートラルへの転換を図るなど、地域イノベーションにつながる研究を展開し、それらの成果を社会実装することで、地域共創、新しい地域づくりを先導する役割を担っている。



【イメージ】



修学達成度可視化システムの一部



大学での自身の学びを可視化

三重大学では、全ての学部において、修学達成度可視化システムを導入している。これは入学者が、大学に入学してから今までの学びを振り返ってみて、授業でどれくらいの力が身に付いたのか、大学でどのくらい学習をがんばったのかを自身で実感できるシステムだ。授業で自身が身に付いたと思った力の蓄積した数グラフと表になって表される。これにより、自分の長所、足りないところ、伸ばしたいところなどの自身のプロフィールを知ることができるほか、伸ばしたい力を意識して次の学期に履修する授業を決定することもできる。そして就職活動時には、企業などに対して自身の学修成果を提示することができる。これにより成績証明書以外でも、企業などに自身をPRすることができる。

世界を舞台にした探究心を応援する学生海外チャレンジ応援事業

三重大学では、大学独自の支援事業「学生海外チャレンジ応援事業」として、世界に飛び出し、学業の達成やキャリア形成のための活動にチャレンジする皆さんの思いを応援する。

この事業は、2022年から始まり、10日以上海外滞在で実現したいオリジナルの留学計画に基づいて最大50万円が給付される。2024年度は、20～40件が採択見込みだ。採択者は、帰国後の成果発表会で報告を行う。昨年度参加した学生たちは、チャレンジの成果を堂々と発表し、海外での経験を通して一回りも二回りも成長したことが伺えた。確固たる目的を持った海外での学びは、学生たちにとってより有意義なものとなり、将来の糧となるはずだ。